

議会報告
瑞風

発行
中林たかし事務所
雲南市加茂町神原 733-4
電兼FAX 49-6373



6月定例会 6/13～6/27

6月定例会は6月27日、一般会計補正予算など補正予算5件、第三次雲南市総合基本計画構想など議案13件、速水雄一氏を名誉市民に推挙する同意案件などを審議、可決しました。

主な補正予算は左表のとおりです。

事業名	予算額			説明
	当初	補正	補正後	
コミュニティ助成事業（大東町阿用地区）	0	2,000	2,000	宝くじ助成事業を活用し、地域防災活動に必要な備品等の購入
コミュニティ助成事業（加茂まちづくり協議会）	0	1,000	1,000	宝くじ助成事業を活用し、通学路確保のための除雪機購入
コミュニティ助成事業（吉田地区振興協議会）	0	1,000	1,000	宝くじ助成事業を活用し、独居高齢者対象の除雪支援事業強化のため除雪機購入
地域活性化センター助成事業（掛合 project U）	0	1,500	1,500	草刈代行など地域若者による課題解決を手掛ける地域づくり団体への乗用草刈機補助
予防接種事業	140,430	72,708	213,138	高齢者インフルエンザワクチン接種 新型コロナウィルスワクチン接種（R6年秋）
水田園芸拠点づくり事業	0	23,775	23,775	水田園芸に必要な施設・設備への補助
道の駅さくらんぼ里きすき活性化事業	0	61,439	61,439	用地買収費、産直施設改修設計費 ほぼ全額を市債（借金）で賄う

雲南市は6か町村が平成16年11月1日に合併し、本年11月で合併20周年を迎えます。これを記念し、今年は様々な行事が予定されています。

市制施行20周年記念事業

市町村の中に雲南市が含まれていたことから人口減少対策や財政運営をどう進めるか、といった視点、そして小田川教育長就任後初となる定例会であることから今後の教育行政の進め方等に質疑が集まりました。

実施月日	事業名	会場	内容
令和5年12月	20周年記念ロゴマーク作成		ポスター、チラシ、懸垂幕等に使用
7月上旬～	プレミアムカタログ事業（20周年記念販売）		雲南市商工会が実施主体で記念事業として内容の充実を図る
7月12日 7月13日	全国史跡整備市町村協議会 雲南市大会	チェリバホール 菅谷たたら山内	講演会 現地見学会
8月4日	「開運！なんでも鑑定団」 テレビ収録	アスパル	テレビ東京番組
8月28日	NHK夏期巡回ラジオ体操	木次小 グラウンド	NHKラジオ生放送
10月12日	20周年記念式典 （メイン事業）	アスパル	記念式典、名誉市民顕彰ほか

上記他、大東よいこ祭、加茂よっといで祭、きすきがっしょ祭、みとやっこ祭等も協賛で様々なイベント開催予定

財政運営に問題はないか？

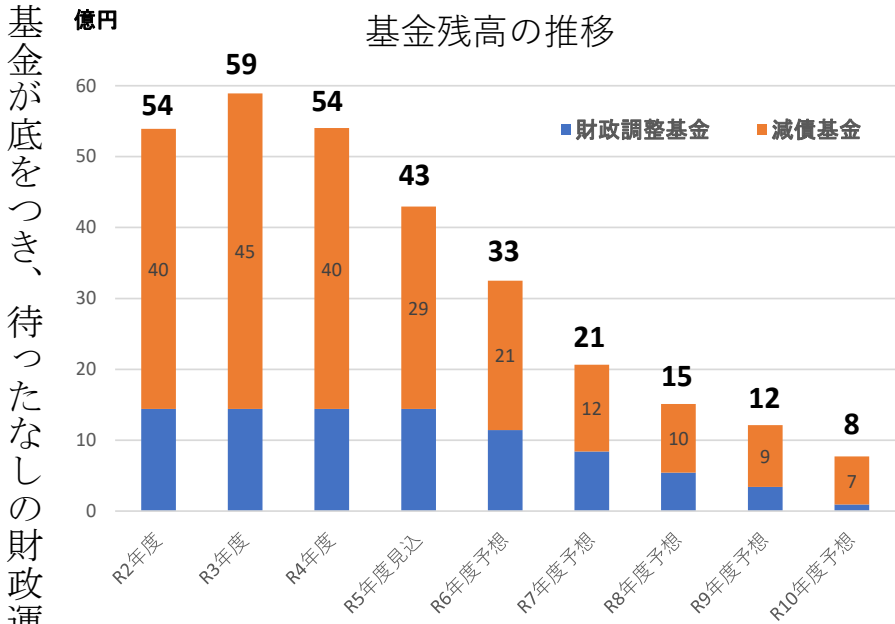
ラメールの大規模改修の是非など市の財政に関し、お問合せやご意見を頂くことが多くなりました。

本年度から始まる、及び今後予定される大規模事業をまとめたのが左表です。

	事業名	時期	金額 （凡その見込）
①	道の駅きすき駐車場	今年度から	4億円弱
②	ラメール大規模改修	今年度から	21億円
③	木次中学校建替え	今年度から	40億円
④	交流センター建築 幡屋、民谷	今年度から	9億円弱
⑤	旧本庁舎、旧久野小、 加茂小プール等解体	今年度から	10億円
⑥	中村団地現地建替え	今年度から	10億円弱
⑦	学校建替え 海潮小、阿用小 加茂小、加茂中など	今後	100～200億円 それ以上とも
⑧	次期可燃ごみ焼却施設 雲南市・奥出雲町・飯南町共同事業	令和13年度 までに建設	200億円とも

⑦は中林が予想する事業、⑦及び⑧の金額は中林の推定

一方、特定目的基金を除く基金（非常時のため余力が必要）の推移が左です。



基金が底をつき、待ったなしの財政運営

を余儀なくされます。改めて必要な事業とは何か、不要な事業はないか、市民を巻き込んだ議論が必要ではないでしょうか。

名誉市民に速水雄一元雲南市長

市制施行20周年記念式典において初代雲南市長として4期16年にわたり市政の発展に寄与された速水雄一氏が名誉市民として顕彰されることになりました。速水氏の功罪について市井では様々な評価がありますが、①合併当初あった多額の市債（借金）を圧縮するため財政非常事態宣言を発出し財政再建に当たられたこと、②市民による小規模多機能自治を推進されたこと、③合併後15年間、適用された合併算定替えによる交付税の減額幅の縮小に全国首長の先頭に立って尽力（雲南市財政に約93億円の寄与）H26～R2、中林試算、今後も効果は持続）されたこと、等は特筆すべき成果です。

中心市街地活性化事業、次ステージへ

平成28年度からスタートした雲南市中心市街地活性化事業は、ドーミーインが今年5月に着工、来年夏頃のオープンにむけ準備が進められています。これにより下熊谷地区の事業は一区切りつきます。



◎ホテル名
ドーミーイン EXPRESS 出雲の國雲南
◎建築概要
鉄筋コンクリート造5階建 94室

今後は木次駅前地区の再開発にむけた事業化に軸が移ります。中心市街地活性化協議会はプランを取りまとめ、6月19日に市長あて提言書を提出しました。

動画を下記QRコードからご覧いただけます

中林たかしの一般質問



雲南市の将来像について

問

人口戦略会議が公表した消滅可能性自治体に雲南市が含まれている。本市の人口減少に歯止めがかからない、対策を伺う。

答（市長）

社会減の改善や定住者の増加など一定の成果はみられるものの社会像には至っていない。高校生が進学等で市外に流出した後のUターンが少ないことから、高校卒業生とのつながりを持つために雲南市の情報誌を作成し継続的に配布する、大学生のインターンシップの充実等に努める。

問

市保有の遊休地や地域から要望のある土地を活用して住宅地を整備する考えは。

答（副市長）

現在、雲南市土地開発公社では今後10年後を見据えた第3次総合計画を策定中。住宅地として可能性のある場所の選定作業を行っており年内をめどに計画を取りまとめ、切れ目なく住宅供給を進める。

問

5月23日、JR西日本は本次線について地元協議の意向を示した。本市の対応は。

答（市長）

島根県を通じて確認したところ、前提を置かずに協議を行う趣旨だと聞いている。県や沿線自治体と相談しながら対応していく。大前提として、廃止を意図する議論は受け入れることはできない、と考える。

教育について

問

教育長就任に当たり抱負、どのような考えで職務を遂行する考えか伺う。

答（教育長）

私が目指す教育は雲南市に誇りを持つ子供の育成、子供を中心に置いた学校教育の推進、豊かな人間性を持ち予測不能で変化の激しい社会へ対応できる子の育成だ。

問

市内児童生徒の虫歯り患状況伺う。

答（教育長）

令和5年度、6歳児で約47%、12歳児で39%の虫歯があった。本市は全国より高い数値となっている。

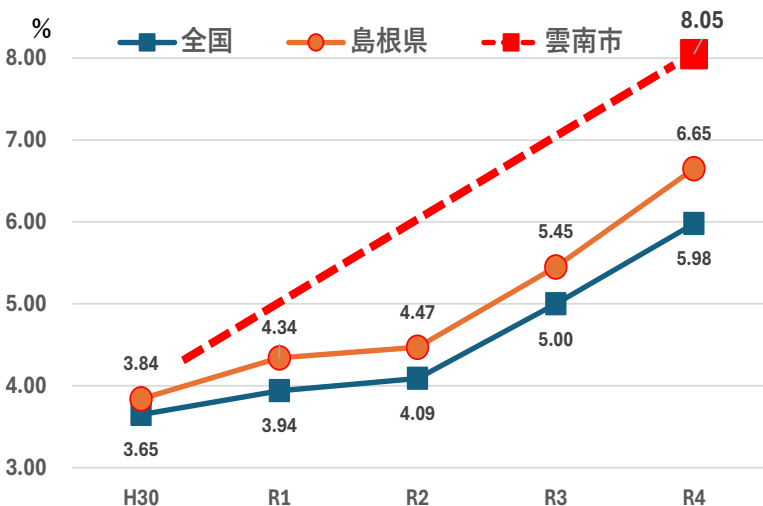
問

市内小中学校の児童生徒の不登校の実態、原因と対策を伺う。

答（教育長）

令和4年度調査で小学生が国1.7%、県2.4%、本市2.5%、中学生が国6%、県6.7%、本市は8%と小中いずれも高い状況だ。

雲南市中学校生徒の不登校の割合



(雲南市の過去データは非公表につき中林が破線で想定表示)

不登校の原因ははっきりしない部分が多く、また、個別の状況もあり原因が究明できていない。不登校はだれにも起こりうることだと認識し取り組んでいる。

問

本市は小中一貫教育と義務教育学校についてどう考えるか。市民を巻き込んだ議論は十分といえるか。

答（教育長）

令和元年度に策定した小中一貫学園化構想では令和7年度を目標に学校、学校運営協議会、地域自主組織、教育委員会、小中一貫学園化構想について協議する予定だった。しかし、コロナ禍で地域や保護者へ説明が十分できなかったため計画通りに進んでいない。

問

市報うんなん5月号に中高一貫教育について言及した箇所がある。小中一貫教育についてさえ十分な理解が深まっていな中で唐突感がある。真意は何か。

答（教育長）

平成

25年度から市内高校と連携し、幼稚園、保育所、こども園、小学校、中学校、高等学校の一貫した雲南市独自のキャリア教育プログラムを展開してきた取組について記載したもの。従って文科省が定め広く一般に知れ渡っている中高一貫教育という用語とはかなりの違いがある、用語の使い方が適切でなかったと反省する。

問

大東高校への入学者数が減少し学校の存続が懸念される。存続に向け市の所見、対策を伺う。

答（教育部長）

大東高校は市内における最高教育機関であるとともに地域にとっても地方創生の実現に向け重要な役割を担っている。引き続き雲南式探求や通学環境の確保、市報やSNSを活用し学校活動や部活などの情報発信に努め生徒確保の支援を行う。

林業について

問

本市の林業の状況、市等が所有している森林面積、資源量を伺う。

答（農林振興部長）

3ha以上で森林経営を行う林業経営体数は法人6、個人が95。個人経営体の多

くは森林組合等へ経営委託されている。公的機関は面積の32.6%、資源量は30.5%を占めている。

問

市産材の公共建築物への利用が十分ではない。モデル的な事業も必要ではないか。

答（農林振興部長）

雲南市木材利用促進に関する基本方針に従い500㎡以下の建築物は木造化を基本、500㎡以上の建築物は内装の木造化を進めている。

問

本市の林業は生業となりうるか。生業とするためにはどうすればよいか。

答（農林振興部長）

森林組合等の法人経営体は利潤を追求する企業体として事業展開、森林組合へ経営委託されていない個人経営体では収益が望めないことから生業となっていない。そのため、市では山林の団地化、集約を進めることで施業の効率化、経費削減と販路拡大に取り組み収益力の向上を目指す。

市制施行20周年について

問

市制施行20周年を迎えるにあたり、どのような事業が計画されているか。

答（総務部長）

雲南市市制施行20周年記念式典、20周年記念ロゴマークの作成、「開運！なんでも鑑定団」公開収録、「水曜どうでしょう」キャラバンin雲南市、NHK夏季巡回ラジオペ操などがある。

今回の一般質問は、市内小中学校の現場における状況と課題を取り上げました。データを見る限り、想像以上に厳しい状況が見えました。対策が急務です。また、市制施行20周年記念事業はイベントだけでなく、行ったでしようか、今後20年、30年先を見据えたまちづくりを議論する機会があつてもよかつたのではと思います。(たかし)